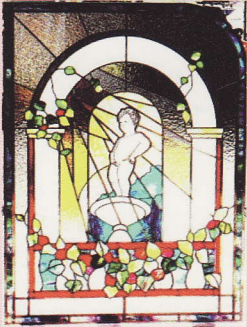


0566-21-0211

こんにちは。京極歯科の久田和明（ひさだかずあき）です。このたび、あなたやあなたのご家族にとって当医院がより身近な存在になって頂くために、京極歯科のニュースレターをお届けすることにしました。引き続き今回は第9号となります。



☆歯のお話【豆知識】

徳川家康の入れ歯

●日本の入れ歯は世界最先端だった！？

食通で知られる徳川家康。実は晩年は「総入れ歯」だったことが知られています。時代は江戸の初期。今からおよそ400年も前のことですが、そんな時代から「総入れ歯」があったんですね。

ところで、この家康の入れ歯、どんな人が作ったのでしょうか？もちろん、当時は歯科技工士などいませんよね。ヒントはこの入れ歯が「木製」であったこと。答えはなんと、「仏師」と呼ばれる木の仏像を彫る人が作っていたんですね。現在でも高い技術が必要な「総入れ歯」ですが、家康は「おいしくご飯を食べられる」と大変ご満悦だったそうです。いくら細かい彫刻をするのが本職とはいえ、家康の入れ歯を作るとなれば、相当な緊張と苦勞をされたんじゃないかと思います。

医院のお花



●ヨーロッパの「見せ入れ歯」

さて、世界に目を向けると、とても面白いことがわかります。実は、ヨーロッパで 食事にきちんと使える入れ歯ができたのは18世紀に入ってから。

日本に遅れることなんと200年！！

野菜など比較的やわらかいものを食べていた日本に比べ、肉などの固いものを食べていたヨーロッパ。そんな食生活の違いが、入れ歯の進化に影響を及ぼしていたようです。

しかしヨーロッパでは、実はその前からも「入れ歯」そのものは存在していました。ただし、その目的は「歯が抜けてしまった口元を美しくみせること」。見た目を自然の歯に近づけるため、動物の牙などをつかっていたようで、しばらく使うとひどい悪臭がするのが難点。さらにそれを、香水でごまかしていたそうです。

食生活だけでなく、文化的な違いも垣間見れますよね。



☆ 定期メンテナンスでお口の未来が変わる！

～一生おいしく食事をするために～

《歯石・バイオフィルムは「細菌」のすみか》

その3： 歯磨きだけでは防げない

むし歯や歯周病の原因となる細菌のかたまり「プラーク」。毎日の歯磨きでしっかり落とすことがまず大切です。しかしそれでも、数か月もするとほとんどの方のお口に強固な「歯石」や「バイオフィルム(細菌の膜)」ができてしまいます。そこで、定期メンテナンスでは、専門の器具を使って、これらを時間を掛けて丁寧に取り除きます。



『歯石』はとにかく強固

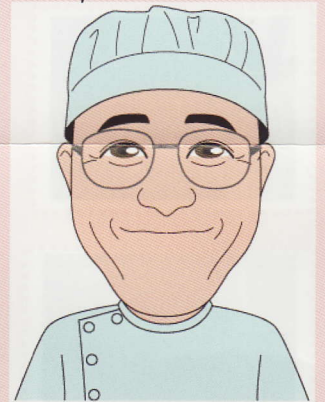
とても強固で
歯磨きだけでは
取り除けません。

その1, 2は
第7, 8号
をみてね。

歯周病が心配でしたら、気軽にお電話ください！

スマートフォン向けの当院サイトをアップしました。

当院の情報やお知らせを、携帯やスマートフォンから確認できます！！
受付の↓↓に携帯をかざすだけで、当院のホームページに。
簡単ですので、是非 ファインドクターからかかりつけ登録してください。
QRコードからでも結構です。
携帯の進化は目覚ましく、院長もスマホにかえたばかりで、四苦八苦しなながら、使いこなしています。



久田 和明

歯学博士

歯科理工学専攻

趣味はへたなゴルフ

京極歯科

〒448-0844 刈谷市広小路3-33 (木・日・祝は休診です)

電話予約 ☎ 0566-21-0211

ネット予約 インターネットで [刈谷市 京極歯科](#) で検索してください。(24時間対応)

HP・・・<http://www.kyougoku-dental.com> <http://www.ireba-aichi.com> <http://www.kyougoku.jp/>

